

公表日：11月26日(木)

茨城県の経済動向（茨城経済四期報 平成21年7～9月期）

この茨城経済四期報は、茨城県の経済活動の主要項目分野に着目し、これまで県等で公表された当該分野の各主要経済指標の数値変動をもとに、本県における最近の経済状況をマクロ的視点から、限られた統計データ分析範囲の中で、概観的にまとめたものです。

本県経済は、依然厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

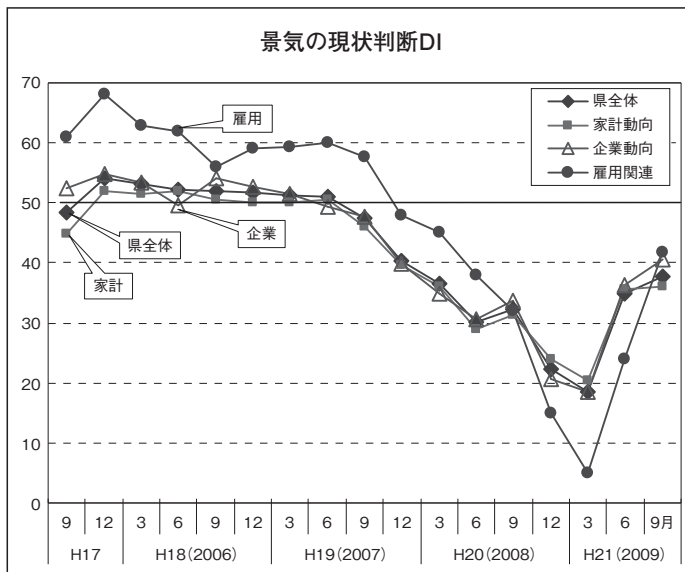
本県の最近の経済動向をみると、生産活動は下げ止まりから持ち直しの動きへ転じている。消費は弱めの動きで推移している。住宅投資は低調であるが、公共投資は前年水準を上回る。民間設備投資は、21年度上期は減少見込みとなっている。雇用・労働は依然と厳しい中にある。景気ウォッチャー調査による景況感は、家計動向関連DI、企業関連DI、雇用関連DIがいずれも横ばいを表す50を下回っており、引き続き下降局面にある。景気動向指数（CI）一致指数は、後方移動平均で上昇の動きがみられる。県民経済計算四半期速報による県内総生産の実質経済成長率（4～6月期）は、5期連続のマイナスとなっている。

景況等

- ・景気ウォッチャー調査9月実施による現状判断DIは、前期（6月調査）比3.0ポイント上昇して37.8となったが、横ばいを表す50を9期連続で下回り、引き続き景気は下降局面にある。業種別にみると、家計動向関連DIは9期連続、企業動向関連DIは10期連続、雇用関連DIは8期連続といずれも横ばいを表す50を下回った。
- ・景気動向指数（CI：平成17年＝100）9月の一致指数は76.1で前月比＋5.1％と2か月連続で上昇し、3か月後方移動平均も3か月連続の上昇となっている。
〈※国の景気動向指数（CI）9月の一致指数は92.7となり、前月比＋1.6％と6か月連続で上昇している。〉
- ・県民経済計算四半期速報（平成21年4～6月期）の県内総生産（支出側）実質経済成長率は、前期比－0.8％（年率換算－3.1％）となり、5期連続のマイナスとなっている。
〈※国の実質経済成長率（平成21年4～6月期）は、前期比＋0.6％と5期ぶりにプラスとなっている。〉

景気の現状判断DI

年	月	県全体	家計動向	企業動向	雇用関連
H17 (2005)	9	48.5	44.8	52.4	61.0
	12	54.1	51.9	54.8	68.0
H18 (2006)	3	53.1	51.6	53.5	63.0
	6	52.2	52.0	49.7	62.0
	9	52.0	50.4	54.2	56.0
H19 (2007)	12	51.7	50.1	52.7	59.0
	3	51.3	50.1	51.5	59.4
	6	51.0	50.6	49.4	60.0
H20 (2008)	9	47.4	46.0	47.7	57.6
	12	40.4	39.7	39.8	48.0
	3	36.5	36.1	34.9	45.0
H21 (2009)	6	30.2	28.9	30.7	38.0
	9	32.2	31.4	33.7	32.0
	12	22.3	24.0	20.6	15.0
H21 (2009)	3	18.5	20.4	18.5	5.0
	6	34.8	35.6	36.3	24.0
	9	37.8	36.1	40.5	41.7
前回差(ポイント)		3.0	0.5	4.2	17.7



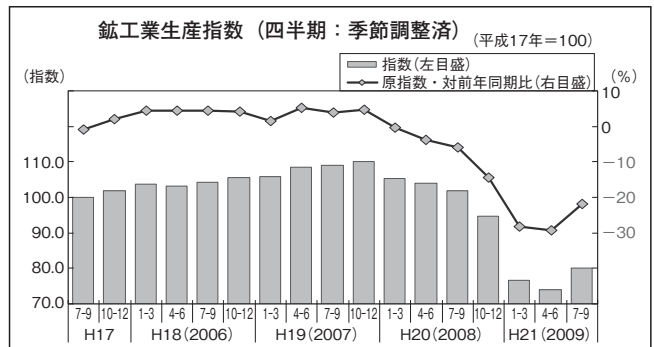
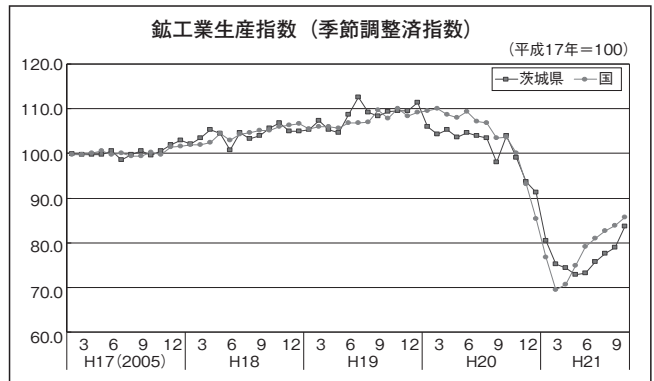
※DIは、景気の方角性（景気が上向きか下向きか）をみるもので、DI値50が横ばいを表す。

資料出所：県統計課

■調査から

生産活動 ……持ち直しの動き

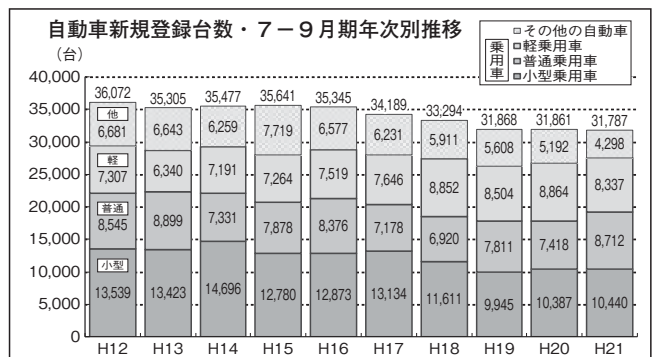
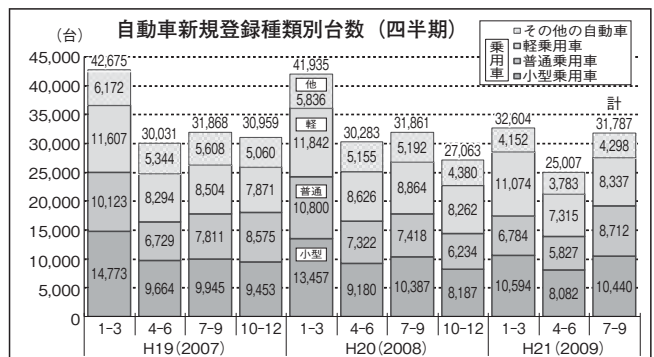
- ・ 鉱工業生産指数（平成17年=100）9月は83.6（季調済）で前月比+6.0%と5か月連続で上昇したが、前年同月比（原指数）では-21.1%となり、19か月連続で前年水準を下回った。四半期ベースで見ると7～9月期は、前期比（季調済）で+8.3%と、7期ぶりに上回った。
 〈※全国の鉱工業生産指数9月は85.7（季調済）で前月比+2.1%と7か月連続で上昇した。原指数では前年同月比-18.4%となっている。四半期ベースでは前期比（季調済）+7.4%と2期連続で上回った。〉
- ・ 大口電力使用量9月は、前年同月比-13.3%と11か月連続で前年水準を下回った。四半期ベース7～9月期では前年同期比-15.0%となり、4期連続で前年水準を下回った。



資料出所：県統計課
 （※県内266の鉱工業製品の生産活動を毎月指数化）

消費 ……弱めの動き

- ・ 大型小売店販売額9月は、前年同月比+1.4%と12か月ぶりに前年水準を上回った。四半期ベースで見ると7～9月期は、前年同期比-0.4%と4期連続で前年水準を下回った。既存店ベースで見ると、百貨店販売額9月は前年同月比-8.6%と11か月連続で前年水準を下回り、スーパー販売額9月も前年同月比-4.7%と14か月連続で前年水準を下回った。既存店の大型小売店販売額9月は、前年同月比-5.3%と18か月連続で前年水準を下回った。
 （※全国の大規模小売店販売額9月は、前年同月比-4.2%と14か月連続で前年水準を下回った。）
- ・ 自動車新規登録台数9月は12,814台で、前年同月比+3.8%と14か月ぶりに前年水準を上回った。貨物車・特殊車を除いた乗用車を前年同月比で見ると、軽乗用車は-4.1%、小型乗用車（2000cc以下）は+6.7%、普通乗用車（2000cc超）は+22.3%となった。四半期ベースで見ると7～9月期は、前年同期比-0.2%と5期連続で前年水準を下回った。
- ・ 二人以上世帯の勤労者世帯消費支出9月（水戸市）は、前年同月比+39.3%と2か月連続で前年水準を上回った。
 〈※全国の勤労者消費支出9月は、前年同月比-1.9%と4か月連続で前年水準を下回った。〉



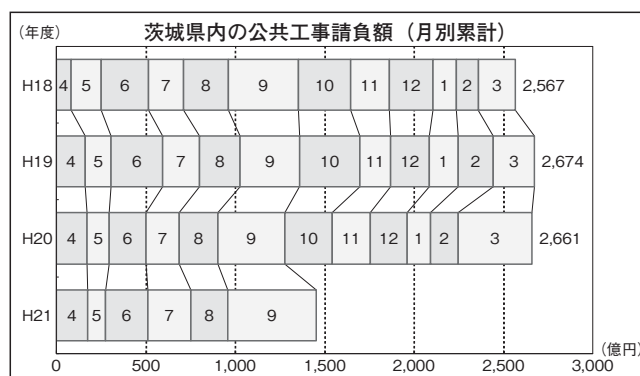
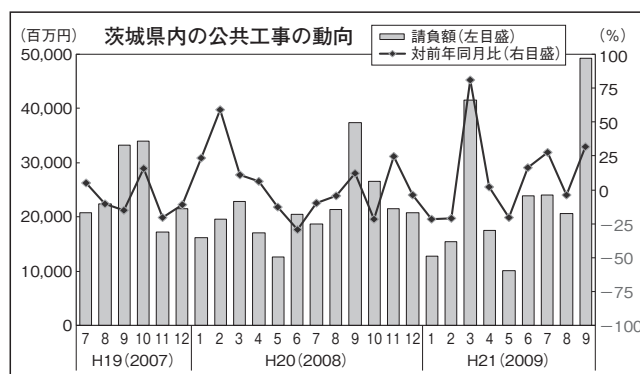
資料出所：茨城県自動車販売店協会

民間設備投資 ……21年度上期は減少見込み

- 法人企業景気予測調査7～9月期調査では、21年度上期の設備投資計画額は、全産業で前年同期比-27.9%の減少見込みとなっている。21年度下期は、全産業で前年比-38.4%の減少見通しとなっている。21年度通期は、全産業で前年比-33.5%の減少見通しとなっている。

建設投資 ……住宅投資は低調、公共投資は前年水準を上回る

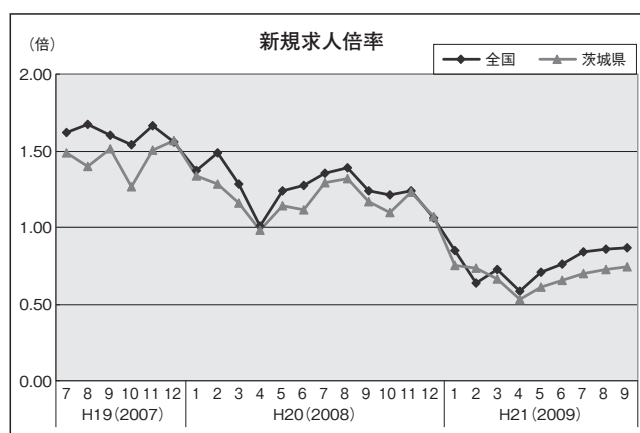
- 新設住宅着工戸数9月は1,508戸・前年同月比-23.8%と9か月連続で前年水準を下回った。四半期ベースで見ると7～9月期は、前年同期比-34.8%と4期連続で前年水準を下回った。
 〈※全国の新設住宅着工戸数9月は、前年同月比-37.0%と10か月連続で前年度水準を下回った。〉
 公共工事請負額から公共投資の動向をみると、9月は前年同月比+31.8%と2か月ぶりに前年水準を上回った。四半期ベースで見ると7～9月期は、前年同期比+30.6%と3期連続で前年水準を上回った。



資料出所：茨城県内の公共工事の動向 (東日本建設業保証(株)茨城支店)

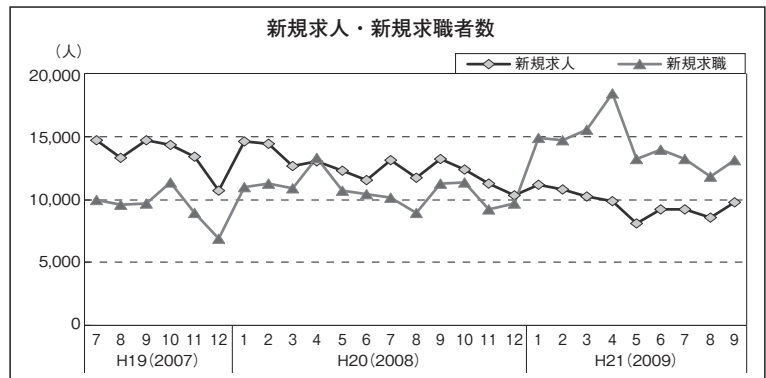
雇用・労働 ……雇用情勢は依然と厳しい中にある

- 新規求人数9月は、前年同月比-25.7%と26か月連続で減少し、新規求職者数9月は前年同月比+16.6%と11か月連続の増加となっている。新規求人倍率(原数値)は0.75倍と9か月連続1倍割れで推移している。
- 雇用保険受給者実人員9月は18,594人で、前年同月比+80.4%と10か月連続増加となっている。
- 常用労働者の現金給与総額(事業所規模30人以上)8月は、対前年同月比-3.2%と9か月連続で前年水準を下回った。きまって支給する給与(事業所規模30人以上)は、対前年同月比-4.4%と8か月連続で前年水準を下回った。



○新規求人倍率（新規学卒を除きパートを含む）

年	月	新規求人倍率		茨城県	
		全国	茨城県	新規求人数(人)	新規求職者(人)
H19 (2007)	10	1.54	1.26	14,350	11,352
	11	1.66	1.50	13,386	8,901
	12	1.56	1.57	10,734	6,855
H20 (2008)	1	1.37	1.33	14,635	10,965
	2	1.49	1.28	14,374	11,219
	3	1.28	1.16	12,665	10,907
	4	1.01	0.98	13,054	13,262
	5	1.24	1.14	12,240	10,738
	6	1.27	1.11	11,533	10,382
	7	1.35	1.29	13,121	10,165
	8	1.39	1.32	11,761	8,908
	9	1.24	1.17	13,181	11,242
	10	1.21	1.10	12,404	11,321
	11	1.24	1.23	11,262	9,167
	12	1.06	1.07	10,294	9,631
H21 (2009)	1	0.85	0.75	11,168	14,861
	2	0.64	0.74	10,805	14,680
	3	0.73	0.66	10,240	15,514
	4	0.58	0.53	9,848	18,433
	5	0.71	0.61	8,052	13,219
	6	0.76	0.66	9,210	13,979
	7	0.84	0.70	9,242	13,180
	8	0.86	0.73	8,595	11,816
	9	0.87	0.75	9,793	13,110



(注) 新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職者
 新規求人数：その月に受け付けた求人数
 新規求職者数：その月に受け付けた求職者数

資料出所：厚生労働省一般職業紹介状況「月報」及び茨城労働局職業安定部「職業安定業務月報」

前回（平成21年4～6月）の茨城県の経済動向概況

本県経済は、厳しい状況の中、一部に下げ止まりの兆しがみられる。

※ 参考：最近の国内経済の動向

（内閣府「月例経済報告」平成21年11月20日）

総論（我が国経済の基調判断）

景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。

- ・ 輸出は、アジア向けを中心に、増加している。生産は、持ち直している。
- ・ 企業収益は、大幅な減少が続いているが、そのテンポは緩やかになっている。設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・ 企業の業況判断は、依然として厳しい状況にあるものの、全体として持ち直しの動きが続いている。ただし、中小企業ではそのテンポは遅い。
- ・ 雇用情勢は、依然として厳しい。
- ・ 個人消費は、持ち直しの動きが続いている。
- ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。